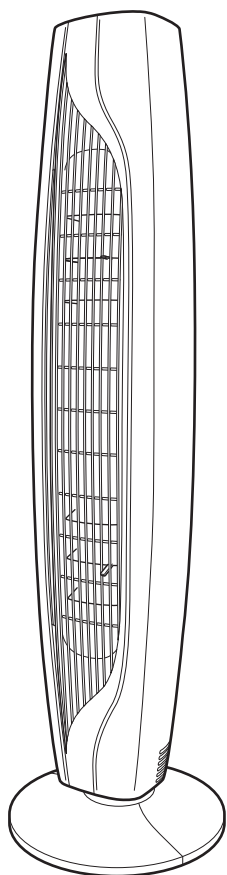


## お手入れタワーファン FTR-1001

### 取扱説明書・保証書



このたびは、当社製品をお買い上げいただきまして、誠にありがとうございます。正しくご使用いただくために必ずこの取扱説明書をよくお読みください。なお、お読みになられたあと、いつでも見られるように大切に保存してください。

※ 本機はお客様組み立て商品となっています。

#### も く じ

安全上のご注意	.....P1~P2
各部の名称とはたらき	..... P3
組み立てかた	..... P4
正しい使いかた	.....P5~P8
お手入れと保存	..... P9~P11
修理・サービスを依頼する前に	..... P12
長期使用製品安全表示制度に基づく本体表示について	..... P14
アフターサービスについて	..... 裏表紙
保証書	..... 裏表紙



### 仕 様

電 源	AC100V 50/60Hz
定格消費電力	50Hz:50W / 60Hz:55W
電源コード長さ	約 1.8 m
外形寸法	約 幅 28 × 奥行 28 × 高さ 99.5 cm
質 量	約 4.5 kg



- 仕様等は改善・改良のため、予告なく変更することがあります。
- この製品を使用できるのは日本国内のみで、海外では使用できません。  
(This unit can not be used in foreign countries as designed for Japan only.)

# 安全上のご注意

- ご使用になる前に、この「安全上のご注意」をよくお読みのうえ、正しくお使いください。
- ここに示した注意事項は安全に関する重大な内容を記載していますので、必ず守ってください。
- お読みになったあとは、お使いになる方がいつでも見られるところに、必ず保存してください。

 <b>警告</b>	誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示します。
 <b>注意</b>	誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性および物的損害の発生が想定される内容を示します。 (物的損害とは、家屋・家財・家畜・ペット等にかかわる拡大損害を示します。)







## 図記号の意味と例

	❯は、「してはいけないこと」を意味しています。具体的な禁止内容は、❯の中や近くに絵や文章で示しています。(左図の場合は、「分解禁止」を示します。)
	●は「必ずすること」を意味しています。具体的な強制内容は、●の中や近くに絵や文章で示しています。(左図の場合は、「電源プラグをコンセントから抜くこと」を示します。)

# 警告

 禁止	交流100V以外では使用しない。 火災・感電の原因になります。	 指示	電源プラグはコンセントの奥までしっかり差し込む。 感電・ショート・発火の原因になります。	 分解禁止	分解しない。また、修理技術者以外の人は修理しない。 火災・感電・けがの原因になります。 修理は販売店またはドウシシャお客様相談室(裏表紙参照)にご相談ください。
	電源コードを傷つけたり、破損したり、加工したり、無理に曲げたり、引っ張ったり、ねじったり、たばねたり、重いものを乗せたり、挟み込んだりしない。 火災・感電の原因になります。		電源プラグの刃および刃の取り付け面にホコリが付着している場合はふきとる。 ホコリが付着したまま電源プラグを差し込むと、ショート・火災の原因になります。	 ぬれ手禁止	ぬれた手で、電源プラグを抜き差ししない。 感電の原因になります。
	電源コードや電源プラグが傷んだり、コンセントの差し込みがゆるいときは使用しない。 感電・ショート・発火の原因になります。		お手入れ後、吸気口カバーをしっかり固定する。 取り付けが不十分だったり、正しく取り付けられていないと、けが・故障の原因になります。	 水ぬれ禁止	水につけたり、水をかけたりしてぬらさない。 ショート・感電の原因になります。
	子供だけで使わせたり、幼児の手の届くところでは使わない。 けが・感電の原因になります。		リモコン用の電池からもれた液が目に入ったときは、こすらずに水で洗い流し、医師の診察を受ける。 失明や目に障害を負う恐れがあります。		
	本体のすき間にピンや針金などの金属物等、異物を入れない。 感電・けがの原因になります。		使用しないときは、必ず電源プラグをコンセントから抜く。 絶縁劣化による感電・漏電・火災の原因になります。		
	 使用禁止		 プラグを抜く	お手入れの際は、安全のため電源プラグをコンセントから抜く。 感電・火災・けがの原因になることがあります。	

# ⚠ 注意

 指示	電源プラグを抜くときは電源コードを持たずに必ず電源プラグをもって引き抜く。 感電・ショート・電源コードの断線の原因になることがあります。	 禁止	ガードの中や本体内部に指などを入れない。 けがの原因になることがあります。	 禁止	シロッコファンをお手入れしたとき、分解したままにしない。吸気口カバーをはずしたままにしない。 本体内部にホコリ・湿気など異物が入り、変形・感電・故障の原因になります。
	リモコンの電池は⊕ ⊖を正しく入れる。 間違えて入れると、故障するだけでなく、液もれや破裂の原因になります。		不安定な場所で使わない。 けが・故障の原因になることがあります。		ベース部が正しく取り付けられていないときは使用しない。 本体が垂直に設置されず、部分。本体内部にホコリ・湿気など異物が入り、変形・感電・故障の原因になります。
	長時間使用しないときはリモコンの電池を抜く。 長時間入れたままにしておく、液漏れによって内部を汚したり、破裂による火災やけがの原因になります。		髪を送風口に近づけすぎない。 髪が巻き込まれ、けがをする恐れがあります。		リモコンの電池は指定以外の電池を使用しない。 液もれなどの原因になります。
	リモコンを廃棄するときは、電池を抜く。 そのまま廃棄すると、思わぬ事故の原因となります。電池は各地方自治体の指示に従って処分してください。		次のようなところでは使わない。 ●レンジなど炎の近く ●引火性のガスがあるところ ●雨や水しぶきがかかるところ 変色・変形・炎の立ち消え・火災・感電の原因になることがあります。		リモコンの電池は直射日光が当たる場所など高温になる場所に置かない。 液もれや破裂・火災などの原因となります。
 禁止	風をからだに、長い時間続けてあてない。 健康を害することがあります。	 禁止	お手入れの際は住宅用洗剤・シンナー・ベンジン・アルコール・磨き粉などを使わない。 変色・変形・感電・故障の原因になります。	 禁止	
	ベースを引きずらない。 床が傷つく原因になることがあります。		シロッコファンを水洗いしない。 一部金属とゴムが使用されているため、サビ・ゴムが劣化し、故障の原因になります。		

# 各部の名称とはたらき

## 表示部

数値表示部 — 温度表示 (°C) / タイマー表示 (H)  
 弱風ランプ — LOW — リズム風ランプ (♪)  
 中風ランプ — MID — おやすみ風ランプ (🌙)  
 強風ランプ — HI  
 首ふりランプ — (↩)  
 リモコン受光部

《温度表示例》 《タイマー表示例》  
 26 °C      2 H

## 操作部

首ふりボタン (C) — 首ふり運転を開始/停止します  
 電源ボタン (A) — 運転を開始/停止します  
 リズム・おやすみ風ボタン (E) — 運転モードを切り替えます  
 風量ボタン (B) — 運転中の風量を調節します  
 切タイマーボタン (D) — 切タイマーの時間を設定します

## 表面

表示部  
 リモコン受光部  
 風向上下レバー  
 送風口 (前ガード)  
 本体  
 風向上下レバー

## 左側面

取っ手  
 リモコン収納部  
 吸気口カバー取りはずしボタン  
 吸気口 (吸気口カバー)  
 ベース  
 電源コード  
 電源プラグ

## リモコン

《送信部》

A: 電源ボタン  
 B: 風量ボタン  
 C: 首ふりボタン  
 D: 切タイマーボタン  
 E: リズム・おやすみ風ボタン

本体操作部と同じように動作します

# 組み立てかた

## 梱包部品一覧

お買い上げ後、同梱の部品を確認してください。

本体 .....	1個	リモコン用コイン形リチウム電池(CR2032) .....	1個
ベース .....	2個	取扱説明書 (保証書含む) .....	1個
リモコン .....	1個		

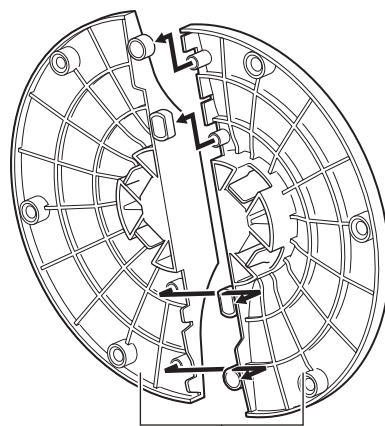
※お買い上げの際、製品の箱に入っていた包装部材は、シーズン終了後、製品を収納するときに必要ですので捨てないでください。

### 1. ベースを組み立てる

ベースを裏向きにし、ふたつのベースを中心から互い違いに組み合わせて、突起と穴を合わせてしっかりと差し込んでください。



- ベース組み立てのときやベース取り付けのとき、指など挟まないように注意する。
- ベースを取り付けるとき、電源コードを挟まないように注意する。



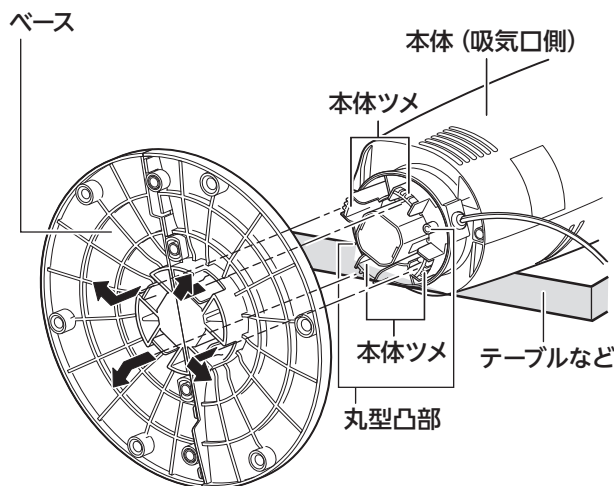
ベース(裏側)

### 2. 本体にベースを取り付ける

テーブルの上などに、吸気口カバーが上側になるように本体を横にします。

本体側にある2か所の丸型突起部とベース側の丸型凹部の位置を確認し、それらを組み合わせるようにして、本体にベースを取り付けます。

※組み立てはテーブル・机などの台の上で行なってください。テーブル・机などを傷付けないように必要であればバスタオルを敷くなどしてください。



# 正しい使いかた

## 使用前の準備

### 1. 本体を安定した水平な場所に設置する

- 本体とベースのあいだに電源コードをはさまないように注意してください。

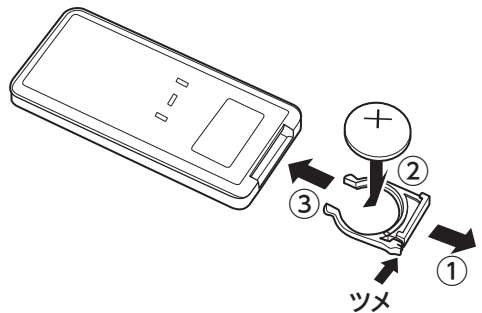
#### ⚠注意

- 電源コードに本体をのせないように注意する。
- 本体を持ち上げるときは、取っ手を持つか、両手で本体の下のほうをしっかり持つようにする。

### 2. リモコンに電池を入れる

本体裏側のリモコン収納部にリモコンが収納されていますので取り出してください。

- ①電池ボックスをリモコン本体から引き出す  
電池ボックスのツメを内側に倒すようにして引き出します。
- ②コイン形リチウム電池を、電池の⊕⊖の向きに注意して電池ボックスにセットする  
電池の⊕側を上にしてセットしてください。
- ③電池ボックスをリモコン本体に差し込む  
カチッと音がするまで差し込んでください。



#### 使用可能範囲

- 本体正面から直線で約5m
- 本体正面から左右に約30度
- リモコンと本体の間に障害物がある場合は、リモコンが正常に動作しないことがあります。

#### ⚠注意

- 電池の寿命を長くするため、長時間使わないときは電池を取りはずす。
- 電池の破裂や液もれを防ぐため、⊕⊖を正しく入れる。
- 電池の充電・ショート・分解・火への投入・加熱などはしない。
- 万一、液もれが起こったときは、よくふき取ってから新しい電池を入れる。

### 3. リモコンをリモコン収納部に取り付ける

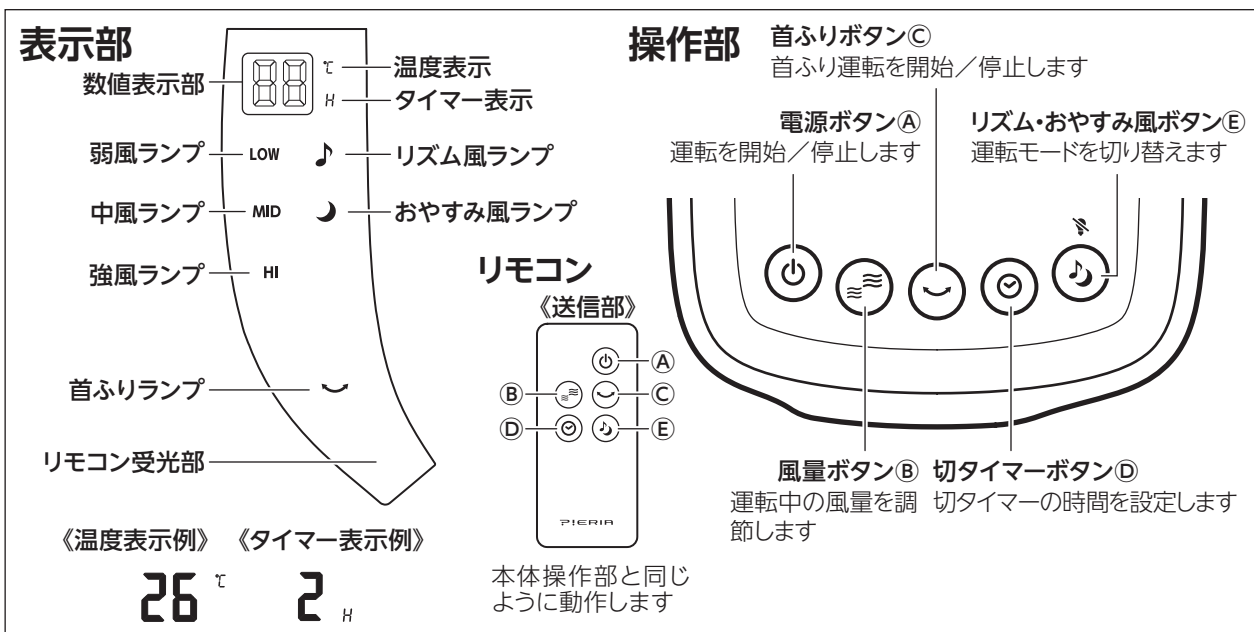
### 4. 電源プラグをコンセントに差し込む

ピーピーと音がします。

- 吸気口カバー、内部のシロッコファンなど正しく取り付けられていないと、音がしません。電源が入りませんので確認ください。



収納するときは表面を上にして、リモコン収納部に取り付けてください



## 運転を開始／停止する

### 1. 運転を開始する

本体またはリモコンの①電源ボタンを押すと、運転を開始します。

- 本機の周囲の温度表示と現在の風量などを表示します。
- 通常の使用時にはメモリー機能により、前回停止時の風量・首ふりで運転を開始します。
- 電源プラグをコンセントに差し込んでから最初に本体またはリモコンの①電源ボタンを押したときには、弱風運転を開始します。

#### メモリー機能

本体またはリモコンの①電源ボタンを押すと、前回の設定で運転を始めます（風量・首ふり）。

※電源プラグをコンセントからはずすと、初期設定にリセットされます。

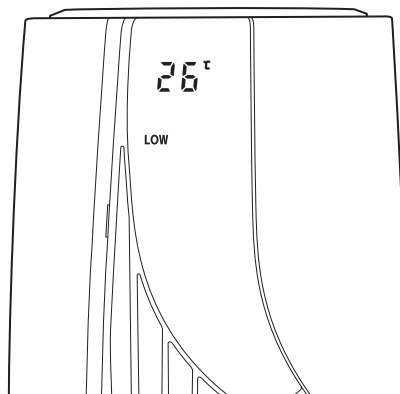
[初期設定] 風量：弱風、首ふり：なし

### 2. 風量を調節する

本体またはリモコンの②風量ボタンを押して風量を調節してください。



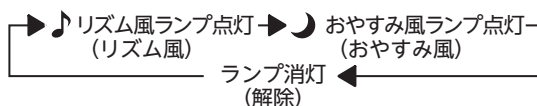
《表示例》



# 正しい使いかた (つづき)

## 3. リズム／おやすみ風機能を作動させる

運転中に本体またはリモコンの③リズム／おやすみ風ボタンを押すと機能が切り替わります。



※ 設定されたリズム風ランプ、おやすみ風ランプが点灯します。

## 減光モード

運転中に1分間以上操作がなかった場合、自動で減光モードに切り替わり、表示部ランプが暗くなります。本体またはリモコンの操作ボタンを1度押すと、表示部ランプは元の明るさに戻ります。

## 消灯モード

運転中に本体の③リズム／おやすみ風ボタンを長押し(3秒以上)すると、表示部・運転ランプが $\blacktriangleright$ 消灯モードに設定されます。

## リズム／おやすみ風機能について

### リズム風 (リズム風ランプが点灯)

風量に強弱をつけ、自然な風を再現します。本体またはリモコンの④風量ボタンを切り替えることで風量パターンが変化します。

### おやすみ風 (おやすみ風ランプが点灯)

風量に強弱をつけ、自然な風を再現します。本体またはリモコンの④風量ボタンを切り替えることで次のように風量パターンが変化します。

- ④(HI) 強風時 強リズム風 → 中リズム風 → 弱リズム風 と時間とともに変化します。
- ④(MID) 中風時 中リズム風 → 弱リズム風 と時間とともに変化します。
- ④(LOW) 弱風時 弱リズム風 と同じです。

## 消灯モード

表示部・運転ランプがまぶしいときに、本体の③リズム／おやすみ風ボタンを長押し(3秒以上)すると、消灯モードに設定することができます。

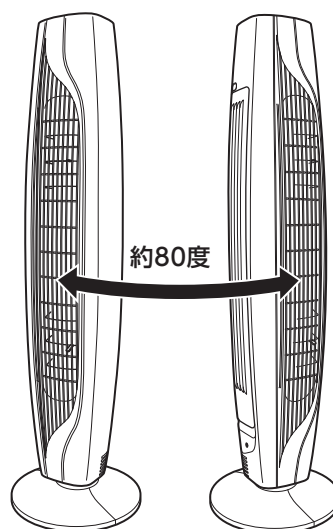
消灯モードを解除する

- 任意の操作ボタンを押します。
- 運転を停止する

## 4. 首ふり運転を開始／停止する

運転中に本体またはリモコンの⑤首ふりボタンを押すと、首ふり運転を開始します。もう一度押すと首ふり運転を停止します。

- ベースより上の本体部分が動きます。

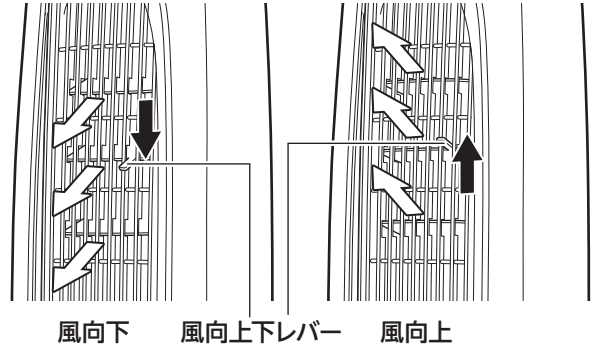




## 5. 風向きを調節する

前ガードの右側にある、風向上下レバーを動かすことにより、上下の風向きを調節することができます。

※風向上下レバーは送風口の上方、下方の2箇所にあります。



## 6. 切タイマーを設定する

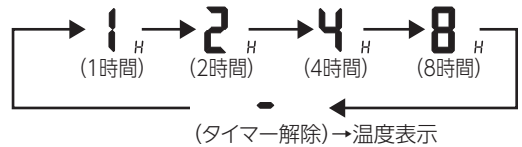
運転中に本体またはリモコンの◎切タイマーボタンを押すと、表示部に切タイマー時間が点灯し、切タイマーが設定されます。切タイマーは最長8時間まで設定できます。

※切タイマーが設定されると、表示部は、温度と切タイマー時間を交互に表示します。

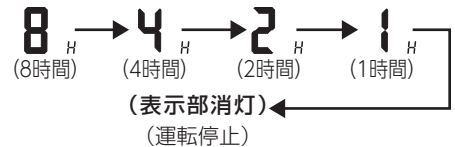
※切タイマーをキャンセルするには、本体またはリモコンの◎切タイマーボタンを表示部が「-」表示になるまで、何度か押します。

### 切タイマー表示について

切タイマーランプは、本体またはリモコンの◎切タイマーボタンを押すごとに表示部が下のようになり切り替わります。



切タイマーを設定したのち、時間の経過とともに表示部の表示が切り替わり、運転が停止するまでの時間を表示します。



※切タイマーが設定されると、表示部は、温度と切タイマー時間（運転が停止するまでの時間）を交互に表示します。

## 7. 運転を停止する

運転中に本体またはリモコンの◎電源ボタンを押すと、運転が停止します。

### 切り忘れ防止機能

最後に操作してから約12時間経過すると、運転が自動的に停止します。

## 8. 電源プラグをコンセントから抜く



**警告**

使用後は電源プラグをコンセントから抜く。  
火災・故障の原因になります。

# お手入れと保存



お手入れの際は、必ず電源プラグをコンセントから抜く。  
感電・火災・けがの原因になります。

## お願い

- 住宅用洗剤やシンナー、ベンジン、アルコール、磨き粉などは絶対に使わないでください。
- 本体に水をかけて洗わないでください。(感電・故障の原因になります。)

## お手入れ

本体の汚れは、ぬるま湯か食器用中性洗剤に浸して、かたくしぼった柔らかい布でふきとり、さらに乾いた布でやさしくからぶきをしてください。(樹脂部分は強くこすらないでください。傷つきの原因となることがあります。)

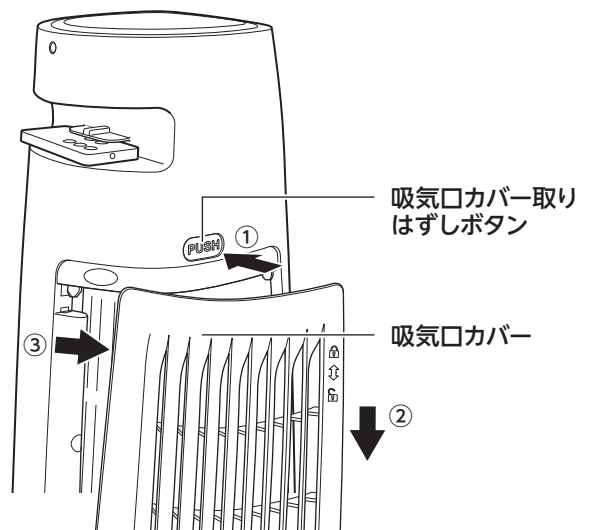
## 通常のお手入れ

送風口・吸気口のコロリを掃除機で吸い取ってください。

## 本体内部のお手入れ

定期的に以下の手順に従って行なってください。

1. ㊟電源ボタンを押して運転を停止させ、電源プラグをコンセントから取りはずす
2. 本体左側面の吸気口カバー取りはずしボタンを押して、吸気口カバーを取りはずす  
右図の順序にて吸気口カバーを全体的に下側に滑らすように動かしたあと、手前に引いて取りはずしてください。
3. シロッコファンをお手入れする  
シロッコファンを掃除機などを使ってホコリや汚れを取り除いてください。



#### 4. お手入れが終わったら、吸気口カバーを取り付ける

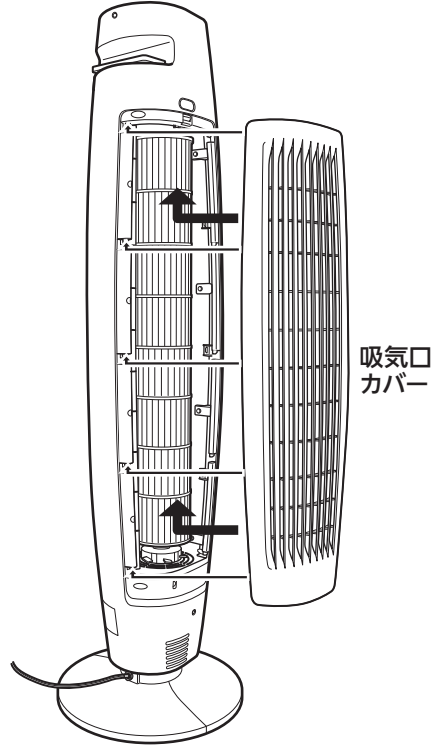
吸気口カバーにある10個のツメを本体側の凹に入れて、そのままはずれないように上側に滑らすように動かして取り付けます。

吸気口カバー取りはずしボタンが面まで戻り、吸気口カバーがはずれないことを確認してください。

※ 取り付けるとき、下側のツメがはずれやすいため注意してください。



- お手入れ後は十分乾燥させる。
- お手入れのあとは必ず吸気口カバーを正しく本体に取り付ける。  
通常入らない部分にほこりが入ったり、故障の原因になります。



#### シロッコファンの取りはずしかた

本機のシロッコファンは取りはずしてお手入れすることができ、さらに送風口裏側の掃除をすることもできます。

1. 「本体内部のお手入れ」の手順で吸気口カバーを取りはずす
2. シロッコファンを押さえて、シロッコファンの下にあるロックリングを左に回してシロッコファンを取りはずす

ロックリングを回すことにより、シロッコファンの取り付け・取りはずしをすることができます。

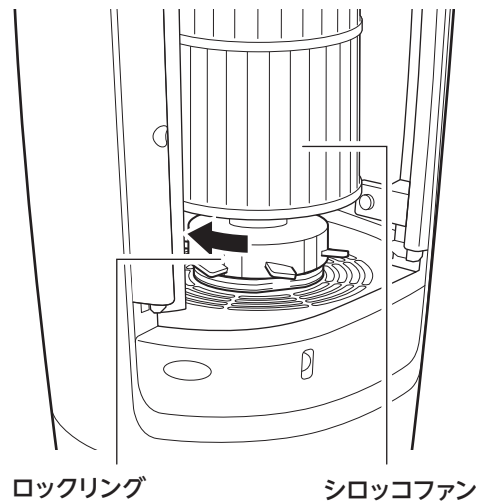
#### 3. シロッコファンのお手入れ方法

##### シロッコファンのお手入れ方法

- シロッコファンおよび本体内部のホコリを掃除機（ブラシ付ノズルなど）を使用して取り除きます。
- シロッコファンおよび本体内部はやわらかい布をぬるま湯か食器用中性洗剤に浸して、かたくしぼり、拭いてください。
- お手入れ後は十分に乾燥させてください。



- たわしなどでこすったりしない。  
傷がつき、かえって汚れ付着の原因になります。
- シロッコファンを水洗いしない。  
一部金属とゴムが使用されているため、サビ・ゴムが劣化し、故障の原因になります。
- シロッコファンに強い衝撃を与えたり、落下させたりしない。  
破損や故障の原因になります。



# お手入れと保存 (つづき)

## ⚠注意

- 内部を掃除するときは、水滴をたらしたりしないようにする。  
直下に電気関係の部品があり、水がかかると、故障の原因になります。
- お手入れ後は十分乾燥させる。

## 4. 先にシロッコファンのロックリングと反対側を本体内側の上の穴に入れ、ロックリングを下の回転軸に右に回して取り付ける

シロッコファンを押さえてロックリングを回転軸に密着させて右側に回すと取り付けることができます。

取り付けが進むと、ロックリングの下に回転軸のねじ山が見えなくなります。

ロックリングが動かなくなるまで回してください。

※取り付けが十分でないと、動作中にはずれたり、異音の原因になる可能性があるため、動かなくなるまでしっかりと取り付けてください。

## 5. お手入れが終わったら、吸気口カバーを取り付ける

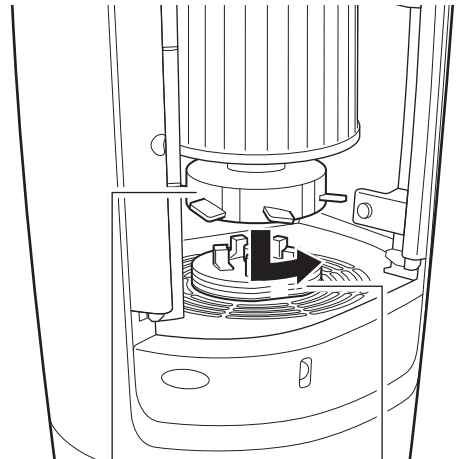
吸気口カバーにある10個のツメを本体側の凹に入れて、そのままはずれないように上側に滑らすように動かして取り付けます。

※取り付けるとき、下側のツメがはずれやすいため注意してください。

## ⚠注意

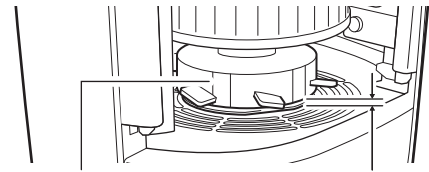
- お手入れ後は十分乾燥させる。
- お手入れのあとは必ず吸気口カバー、シロッコファンを正しく本体に取り付ける。  
通常入らない部分にほこりが入ったり、故障の原因になります。

シロッコファンを押さえる



ロックリングを右に回す

回転軸



ロックリングが回らない

ねじ山が見えない

## 保存のしかた

- お手入れのあと、よく乾燥させてください。
- ポリ袋などをかぶせ、湿気のない場所に保存してください。
- 買い上げの商品が入っていた箱に入れるときは、「組み立てかた」(4ページ)と逆の手順でベースを取りはずしてください。
- リモコンの電池ははずしておいてください。

# 修理・サービスを依頼する前に

**⚠警告** 修理技術者以外の方は分解したり修理をしない。

「故障かな?」と思ったときには次の点をお調べください。

症状	主な原因	処置
電源が入らない	・電源プラグがコンセントから抜けている	電源プラグをコンセントに差し込む
	・吸気口カバーが正しく取り付けられていない ・吸気口カバーの一部がはずれている	一度取り付けなおしてみる
	・シロッコファンが取り付けられていない	シロッコファンを取り付ける
風力が弱い	・吸気口や送風口にホコリがたまっている	ホコリを掃除機などで取り除く
	・シロッコファンにホコリがたまっている	ホコリを掃除機などで取り除く (9ページ)
	・吸気口がふさがれている	・吸気口をふさがない ・吸気口をふさいでいるものを取り除く
異音がる	・ベースが正しく取り付けられていない	ベースを正しく取り付けなおす (4ページ)
	・本体内部に異物がある	本体内部を確認・掃除、異物を取り除く
	・前ガード・吸気口カバーに異物が付着している	前ガード・吸気口カバーの異物を取り除く
	・シロッコファンが正しく取り付けられていない	シロッコファンの取り付けを確認し、正しく取り付けなおす (11ページ)
突然運転が停止した	・切り忘れ防止機能がはたらいた (8ページ)	本体またはリモコンのⓄ電源ボタンを押して運転を開始させる
表示部・ランプが暗い	・1分以上操作がなかったため、減光モードが設定されている(7ページ)	本体またはリモコンの操作部ボタンを1度押す
リモコンから操作できない	・リモコンの電池が切れている	新しい電池に交換する
	・電池が逆に入っている	電池を正しく入れる (5ページ)

## 長年ご使用の扇風機はよく点検を

### このような症状はありませんか?

- ・電源コードや電源プラグが異常に熱い。
- ・電源コードを動かすと、通電したり、しなかったりする。
- ・こげ臭い匂いがする。
- ・その他の異常・故障がある。


このような症状のときは、事故防止のため、すぐに電源を切り、コンセントから電源プラグを抜いて、必ず販売店またはドゥシシャお客様相談室に点検をご相談ください。

# MEMO

# 長期使用製品安全表示制度に基づく本体表示について

## (本体への表示内容)

※経年劣化により発火・けが等の事故の発生が高まるおそれがあることを注意喚起するために電気用品安全法で義務付けられた以下の内容の表示を本体に行っています。

	[製造年] (本体に西暦4桁で表示してあります) [設計上の標準使用期間] (本体に表示してあります)
	設計上の標準使用期間を超えて使用されますと経年劣化による発火・けが等の事故に至るおそれがあります。

## (設計上の標準使用期間とは)

※下表の標準的な使用条件の下で使用した場合に、製造した年から安全上支障なく使用することができる標準的な期間です。

※設計上の標準使用期間は、無償保証期間とは異なります。また、偶発的な故障を保証するものではありません。

## ■ 標準使用条件 (JIS C9921-1による)

環境条件	電圧	AC 100V	製品の取扱説明書による
	周波数	50Hz/60Hz	
	温度	30℃	
	湿度	65%	
	設置	標準設置	
負荷条件		定格負荷(風速)	
規定時間 など	運転時間	8h/日	
	運転回数	5回/日	
	運転日数	110日/年	
	スイッチ操作回数	550回/年	
	首振運転の割合	100%	

### ●「経年劣化とは」

長期間にわたる使用や放置に伴い生ずる劣化をいいます。